



学校だより

令和6年1月10日

No. 10 1月号

横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>

新年に想う

校長 金子 博美

新しい年が始まりました。

穏やかな新年を迎えた喜びも束の間、能登半島での地震災害や羽田空港での飛行機事故と、ニュースで現地の状況や新たな情報が発信されるたびに心を痛める日々を過ごされた方もたくさんいらっしゃるでしょう。被災された皆様、ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全を祈り、一日も早く平穏が訪れますことを願っております。

冬休み前の朝会は、体育館で全校一斉に行いました。その日は、3年生の学年合唱を発表する場でもありました。ステージ側にひな壇で6列、一人ひとりの顔がしっかりと全校のみんなに見えるようにスタンバイしていざ本番♪～地域の「音楽交流会」で披露した2曲、とても元気で明るい歌声でした。目の前で聴いていた低学年の子どもたちは、笑顔で歌う3年生につられて曲に合わせて体を揺らしたりリズムをとったりしながら楽しそうでした。

そして、冬休みを終えた昨日、後期後半初日の1月9日も、体育館での全校朝会を行い、そろってスタートです。学校生活の節目にみんなで顔を合わせることが出来る…新しい年の初めに、そういうことにもあらためて喜びを感じます。辰年は、権力や隆盛の象徴であることから、活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年だといわれているそうです。子どもたちには、「今年はこの頑張り、こんな自分になりたい、など新しい年の始まりにぜひ『想い』をもってほしい、一人ひとりのよい姿で西小をさらによりよい学校にしていきたいということが校長先生の想いです」という話をしました。天高くのぼる龍に守られ、活気あふれる一年になることを心から願います。

少し前に「他喜力」という言葉に出会いました。「他人を喜ばせたいと想う力」のことを言い表すものです。世の中には、夢や目標をもち、それに向かって努力を続けている人たちがたくさんいます。おそらく、夢をかなえて成功している人というのは、自分だけでなく、他人を喜ばせる方法を常に考え、それを実践しようとしているはずで、大谷翔平選手からのグローブの贈り物のニュースを聞いた時、「これも『他喜力』では…」と思いました。誰かを喜ばせるために何かに取り組むと、なぜか楽しくなり、自分自身が活動することにも多くの喜びが生まれてくるものです。人を喜ばせようとするだけで、人は幸せになれる。私自身、周りの出来事に対してできる限り自分事として焦点を当てていきたいと考えています。そして、子どもたちや保護者の方々、地域の皆様、そして教職員一同、誰もが幸せであることを目指し、「他喜力」をもって、新しい一年を踏み出したいと想っています。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

【正門扉改修工事について】当初の予定通り、正門扉封鎖期間は終了いたしました。引き続き、インターフォンや電子錠設置、点検等の作業は、1月13日（土）まで継続いたしますが、1月9日以降、ご来校の際には正門をお通りください。ご協力ありがとうございました。今しばらくご不便をおかけいたしますが、どうぞよろしく願いいたします。